

令和5年産 美里地区の稲作情報

宮城県美里農業改良普及センター

第5号 令和5年6月30日発行

TEL:0229-32-3115 FAX:0229-32-2225

http://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/



1. 気象経過

～高温続く。6月は降水量・日照時間とも多い～

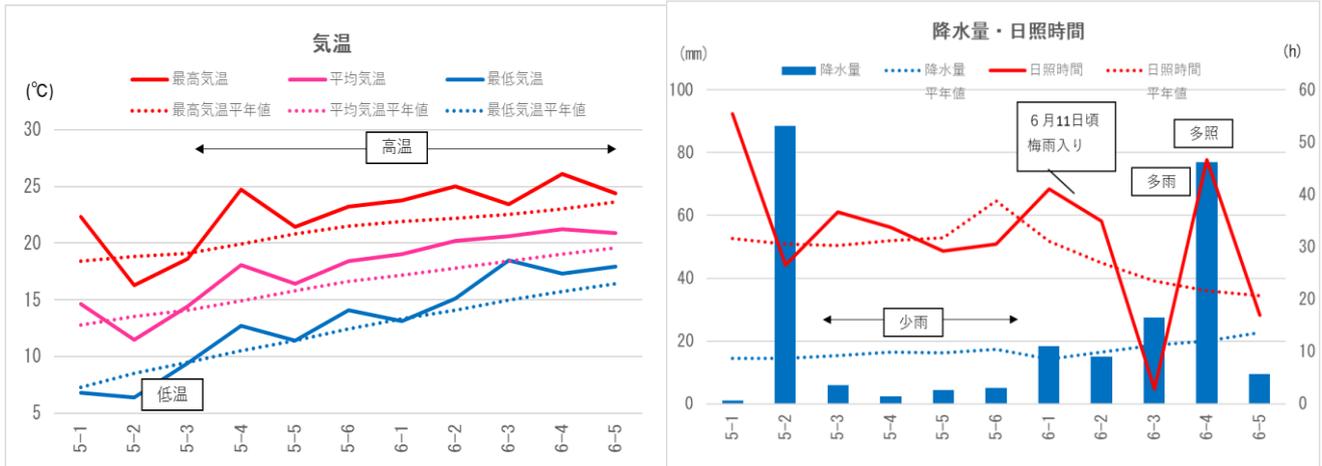


図1 半月別気象経過（鹿島台アメダス）

梅雨入り以降も高温で推移しています。雨天と晴天を交互に繰り返す天候で、降水量・日照時間も多めです。

2. 管内生育調査ほの生育概況

- ・ 晩期栽培を除き有効茎確保、中干しへ
- ・ 肥料切れ早め、追肥の準備を！

表1 生育調査結果

調査地点	品種	区分	田植日	栽植密度 (株/㎡)	6月20日調査結果				6月30日調査結果				
					草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)	
移植	涌谷 (小塚)	ひとめぼれ	本年値	5月9日	16.3	47.6	363.5	8.1	46.6	59.5	541.2	9.4	42.4
			前年比・差	+2日	86%	136%	90%	▲0.1	111%	125%	149%	1.3	91%
			県平年比・差	-4日	-	131%	91%	▲0.5	111%	117%	101%	▲0.7	100%
	田尻 (桜田高野)	ひとめぼれ	本年値	5月4日	16.1	47.1	412.2	8.2	45.4	62.2	542.6	9.4	41.4
			前年比・差	-1日	101%	133%	122%	0.0	105%	132%	132%	1.2	91%
			平年比・差	-5日	100%	130%	109%	▲0.4	105%	119%	101%	▲0.7	91%
	鹿島台 (広長)	ササニシキ	本年値	5月12日	15.3	42.7	377.9	7.8	43.3	55.9	556.9	9.4	38.8
			前年比・差	-2日	99%	121%	142%	▲0.1	110%	131%	147%	1.6	90%
			県平年比・差	+3日	-	126%	84%	▲0.4	107%	115%	90%	▲0.4	95%
	鹿島台 (木間塚)	だて正夢	本年値	5月21日	15.7	44.2	183.7	7.0	43.3	53.5	376.8	9.1	43.8
			前年比・差	+6日	98%	110%	63%	▲0.7	99%	121%	205%	2.1	101%
			平年比・差	+6日	88%	116%	62%	▲1.2	96%	98%	79%	▲1.0	92%
南郷 (和多田沼)	金のいぶき	本年値	5月6日	15.6	40.9	263.6	8.2	42.0	52.2	488.3	9.8	38.5	
		前年比・差	±0日	97%	121%	76%	▲0.3	99%	128%	185%	1.6	92%	
		平年比・差	+2日	96%	109%	64%	▲1.1	99%	99%	92%	▲1.0	93%	
直播	小牛田 (荻塚)	ゆみあずさ 鉄コー	本年値	5月3日	16.3	36.0	145.4	6.0	-	45.4	312.1	8.0	36.3
			前年比・差	-3日	94%	130%	131%	▲0.2	-	126%	215%	2.0	102%

※平年値は過去5年間の平均値。県平年値は県調査ほの平均値。

草丈：平年より長い

茎数：平年より少ないほ場もあるが、だて正夢を除き有効茎数を確保。

葉色：だて正夢、直播を除き平年より淡い。 葉数：平年より少ない。

3. 今後の栽培管理

◎中干しの実施

移植の多くのほ場で有効茎数を確保しているとみられます。茎数が確保できていないほ場も、晩生品種、遅植えのほ場を除き、遅くとも幼穂形成期前に中干しを終了するには、そろそろ中干しに入りましょう。

※県平年のひとめぼれの幼穂形成期：7月8日、ササニシキ7月9日

管内調査ほ平年の金のいぶきの幼穂形成期：7月12日、だて正夢7月13日

中干しは7～10日間行い、田面に小さな亀裂が入り、軽く足跡がつく程度とします。

◎幼穂形成期追肥

表2 幼穂形成期の生育量の目安と追肥量

品種	幼穂形成期(幼穂長1～2mm)				品種	幼穂形成期(幼穂長1～2mm)			
	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色 (SPAD値)	追肥量 (標準) (窒素成分) (kg/10a)		草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色 (SPAD値)	追肥量 (標準) (窒素成分) (kg/10a)
ひとめぼれ	56～59	470～530	37～39	1.0	だて正夢	64～70	390～460	40～42	-
まなむすめ	65～70	580～600	35～37	2.0	金のいぶき	65～70	570～620	33～35	1.0
ササニシキ	62～68	720～760	34～36	-	みやこがねもち	65～70	500～550	33～35	-
つや姫	70～75	550～580	35～37	2.0					

葉色の低下が早く、高温で生育も早まるとみられます。幼穂形成期の平年値を参考に、平年より早めに追肥の準備を進めましょう。穂揃期の葉色を維持するため、上の表を参考に標準的な追肥を行いましょ。

◎いもち病

6月12日に準感染好適日が出現しています。(地点：鹿島台 BLASTAMによる推定) 県病虫害防除所発表の発生予察情報では、葉いもちの発生量、発生開始期とも“平年並”(発生開始期7月第1半旬)となっています。未だに残苗があるほ場が見られます！速やかに処分しましょう！！

◎紋枯病

倒伏、減収の要因となる紋枯病は、6月後半の平均気温が高いほど穂ばらみ期の発病株率が高くなることわかっています(普及に移す技術第95号)。また、昨年発生したほ場では伝染源が残っているため発生しやすくなります。本年は6月中高温が続いていますので、昨年の多発ほ場などでは必要に応じ薬剤防除を行いましょ。

◎6/29 気象庁発表 東北地方太平洋側の1か月予報(7/1～7/30)

【気温】	10	40	50
【降水量】	30	30	40
【日照時間】	30	40	30
凡例	低い(少ない)	平年並	高い(多い)

気温は高い見込みですが、期間の後半は平年並みの見込み。天候は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。